

国際協力就職セミナー 「国際機関で働くには」



UN Photo/ John Isaac

国際機関の職員になるためには、必要な学歴や職歴を積むことが必要で、早い段階から意識して準備することが重要です。「具体的にどうすればいいのか」「今、何をしなければならないのか」に加えて、日本人の就職状況等をご説明いただきます。

- 日時：2014年6月19日（木）18：10～19：40
- 場所：広島大学大学院国際協力研究科 大会議室
- 講師：外務省国際機関人事センター長 佐藤 雅俊 氏

10年後の
国際公務員を
目指して

国連訓練調査研究所（ユニタール）広島事務所長 隈元 美穂子 氏



佐藤雅俊氏プロフィール：

1980年中央大学法学部卒、外務省入省。外務本省では、国際連合局経済課(1986-1990年)、国際社会協力部地球環境課(1998-2001年)等で勤務。国外では、在リベリア大使館(三等書記官;1983-1986年)、ジュネーブ国際機関日本政府代表部(二等書記官;1990-1994年)、在ブルガリア大使館(一等書記官;1994-1998年)、ウィーン国際機関日本政府代表部(一等書記官兼常駐代表特別補佐官;2001-2004年)、在タイ大使館(参事官兼国連アジア太平洋经济社会委員会(UNESCAP)常駐副代表;2008-2012年)で勤務。そのほか、2004-2008年には、国連開発計画(UNDP)本部のパートナーシップ局で特別顧問兼上級事業顧問として勤務。2012年12月より現職。

隈元美穂子氏プロフィール：

1992年米国ウエストバージニア大学心理学部卒業後、九州電力企画部国際関係担当として数多くの海外研修に取り組む。1999年に退社し米国コロンビア大学修士課程にて開発経済を学ぶ。2001年から国連開発計画(UNDP)に勤務。ベトナム事務所(ジュニアプロフェッショナルオフィサー;2001-2003年)を経てニューヨーク本部に異動し、アフリカ適応プログラムを含む様々な能力開発のプログラムに取り組む。2011年には4ヶ月間、UNDPサモア太平洋事務所にて紛争、復興、環境、気候変動担当の事務所代表代理を勤める。2012年よりUNDPインドネシア事務所にてシニアアドバイザーとして勤務。2014年1月より現職。



- 対象：国際協力研究科の学生。他学部・研究科の学生も参加可能です。

※お話のあと、全体質問・個別質問の時間を取ります。

※当日参加も可能ですが、資料準備のため、参加希望者は、名前、所属、学生番号を記載の上、6月17日（火）までに以下へお申込みください。また当日は、参加確認のため、学生証をお持ちください。

国際協力研究科学生支援グループ koku-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp

担当：片柳真理（国際協力研究科・准教授）

国際機関への就職に関する質問は

→外務省国際機関人事センター <http://www.mofa-irc.go.jp>